

## 浅尾左兵衛家文書概要

- 1: 文書群番号 079012-2
- 2: 文書群名 浅尾左兵衛家文書
- 3: 出所 浅尾左兵衛家
- 4: 家業・役職等 大西村庄屋・錦小路家御用医師
- 5: 地名 摂津国川辺郡大西村／兵庫県川辺郡大西村／川辺郡立花村大西／  
尼崎市大西／尼崎市大西町ほか
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第10区／三反田組戸長役場／立花村／尼崎市
- 7: 歴史  
浅尾左兵衛家は、道意新田・西村亀家と親戚関係とのことだが、  
詳細は不明。  
明和5年(1768)の「生島井急水知らせ料との裁定請け書」(常松部  
落有文書／『尼崎市史』第6巻掲載)に「大西村百姓 佐兵衛」の名  
前が確認できるので、当該期にはすでに大西村内有力百姓であった  
と考えられる。本文書群によれば、寛政4年(1792)～弘化2年(1845)  
の期間は、代々大西村庄屋を務めていたことがわかる。  
元治元年(1864)11月、浅尾左兵衛の子、佐平太が朝廷・典薬頭錦  
小路家に入門、同家より鑑札を下されている。錦小路家は維新後の  
明治元年(1868)4月、官許を得て、施薬院三雲宗順邸に御所の内病  
院を開設したが、この代で医業を廃した。
- 8: 伝来  
昭和51年10月、西村亀氏より史料館が借用。昭和58年1月に西村  
亀氏より追加史料1点を借用。平成21年11月に整理・目録作成を完  
了し、亀氏子息の豊氏より同22年2月に寄託を受けた。
- 9: 史料入手先 西村豊氏
- 10: 点数 27点(目録件数24件)
- 11: 年代 天明8年(1788)～元治元年(1864)
- 12: 構造と内容  
本文書群はいずれも近世史料である。家関係のものが大半を占  
めるが、錦小路家の門人である浅尾佐平太に関する医学関係史料  
が多い。他に神道に関するものなどがある。  
越後国蒲原郡水原村吉田清兵衛の親類書(錦小路家宛て)が1点あ  
るが、吉田清兵衛と浅尾家との関係は不明。また村政関係の史料  
として大西村の願留帳、物成納め通い帳などがある。
- 13: 関連史料 なし
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央